



KONICA MINOLTA

PageScope

WorkWare Ver. 1.1

バックアップツール



PAGESCOPE

Workware

目次

1. はじめに	3
1.1. PageScope Workware バックアップツールとは.....	3
1.2. 活用方法	3
1.3. 動作環境.....	4
1.4. バックアップ対象	4
1.5. サポートしていないデータ移行の組み合わせ	5
1.6. データ移行時の制限.....	6
1.6.1 Workware 上共有フォルダの OS上の共有属性情報の確認方法.....	7
1.6.2 リストアを行う環境(OS)が 98SE/ME のとき	9
1.6.3. リストアを行う環境(OS)が NT/2000/XP のとき	11
2. バックアップツールをインストールする	19
3. バックアップする	20
4. リストアする.....	25
4.1. リストア時の注意点	25
4.2. リストアの準備をする.....	27
4.3. リストアする.....	28
5. 履歴を閲覧する.....	34

1. はじめに

1.1. PageScope Workware バックアップツールとは

PageScope Workware(以下、Workware と呼ぶ)は、オフィスに山積する多種多様なペーパー文書や、様々なアプリケーション文書などのオフィス文書を電子化し、PDF 形式による統合管理を行うドキュメントマネジメントソフトウェアです。

PageScope Workware バックアップツール(以下、バックアップツールと呼ぶ)は Workware の設定情報やドキュメントデータをバックアップする、またバックアップしたデータをリストア(復元)するソフトウェアです。

1.2. 活用方法

バックアップツールを使って、Workware データのバックアップを行う具体的な活用例を2つ紹介します。

1. ローカル PC でのバックアップ

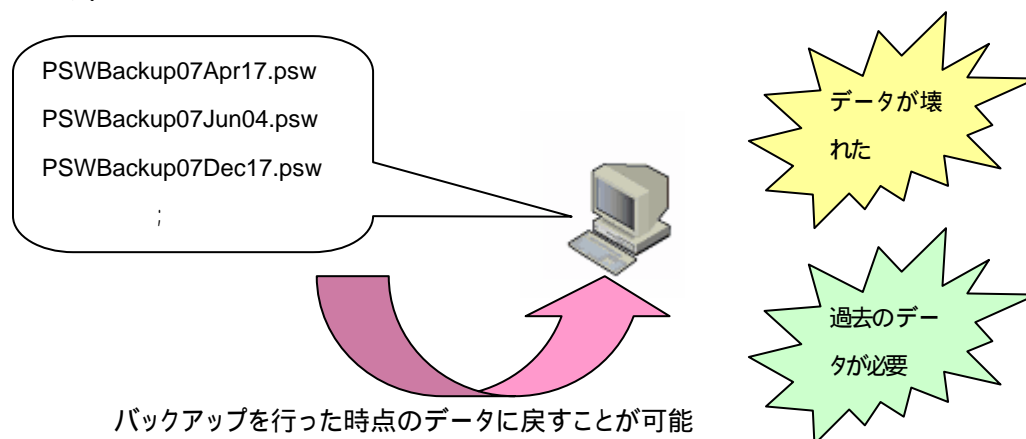
バックアップツールを使い、Workware のデータをバックアップすることができます。バックアップすることで、主に次の2つのメリットがあります。

1. 重要なデータを損失から守る

データが損失した際には、バックアップデータをリストア(復元)することにより、元に戻すことができ、復旧が可能です。

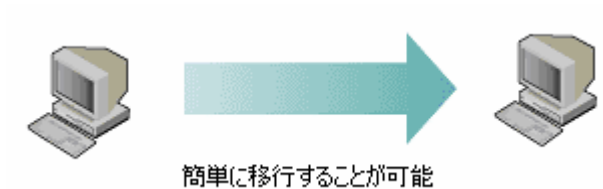
2. 過去のデータを保存する

使われなくなったデータや、データ量が膨大であった場合、古いデータをバックアップしておき、必要なときにリストア(復元)することにより、データを取り出すことが可能です。



2. 他の PC へのデータ移行

バックアップツールを使い、Workware のデータを他の PC へ簡単に移行することができます。



このようなメリットを十分に生かす為に、定期的にバックアップを行って頂くことをお勧めします。

1.3. 動作環境

項目	仕様
必須アプリケーション	PageScope Workware Ver1.1
OS メモリ CPU ハードディスク ディスプレイ ネットワーク	PageScope Workware Ver1.1 の動作環境に準拠する

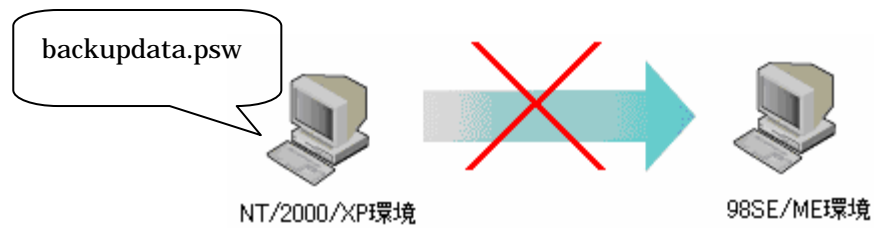
1.4. バックアップ対象

種類	対象情報
データ	・フォルダ ・共有フォルダ(ローカル PC 上のデータのみ。ネットワーク PC 上のデータはバックアップの対象としない。) ・スキャナ/ メール/ ごみ箱
設定情報	監視フォルダ情報 ランチャ情報

1.5. サポートしていないデータ移行の組み合わせ

バックアップツールを使い、Workware のデータを他の PC へ移行する際に、次の制限があります。NT/2000/XP 環境でとったバックアップデータを、98SE/ME 環境でリストアすることはできません。

		リストアを行う環境	
		98SE/ME 環境	NT/2000/XP 環境
バックアップを行った環境	98SE/ME 環境		
	NT/2000/XP 環境	×	



1.6. データ移行時の制限

リストアを行った際、Workware で登録された共有フォルダの OS 上の共有属性情報や設定が、バックアップを行った PC 環境 (OS、ログインしているユーザの権限等) とリストアを行う PC 環境により、バックアップ時と異なる場合があります。(OS 上の共有属性情報の確認方法は、後述の「1.6.1. Workware 上共有フォルダの OS 上の共有属性情報の確認方法」を参照してください。)

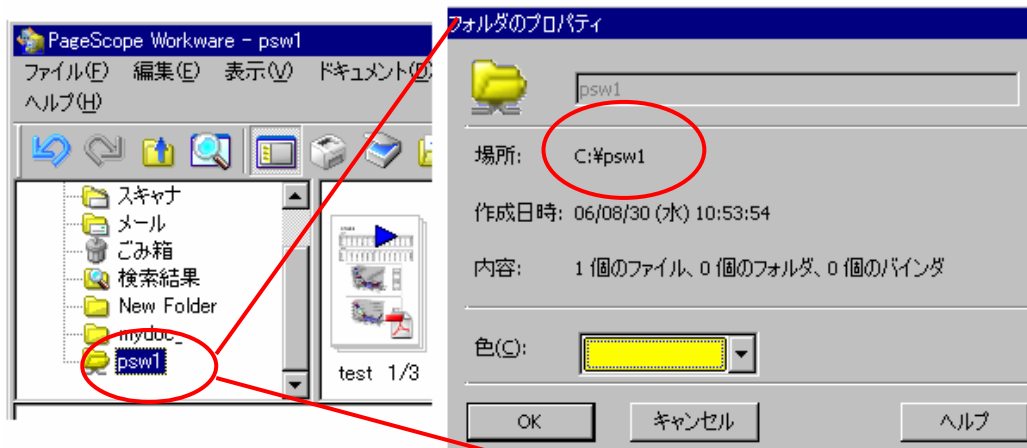
バックアップを行った環境とリストアを行う環境の組み合わせでリストア時に設定される共有フォルダの情報を各章で説明しています。以下の表の該当する組み合わせの章に書かれた設定情報を確認してから、バックアップ、リストアを行ってください。

		リストアを行う環境		
		98SE/ME 環境	NT/2000/XP 環境 (Administrator 相当の権限)	NT/2000/XP 環境 (Users 相当の権限)
バックアップを行った環境	98SE/ME 環境	1.6.2.1 章	1.6.3.1.1 章	1.6.3.2. 章
	NT/2000/XP 環境 (Administrator 相当の権限)	-	1.6.3.1.2 章	1.6.3.2. 章
	NT/2000/XP 環境 (Users 相当の権限)	-	1.6.3.1.3 章	1.6.3.2 章

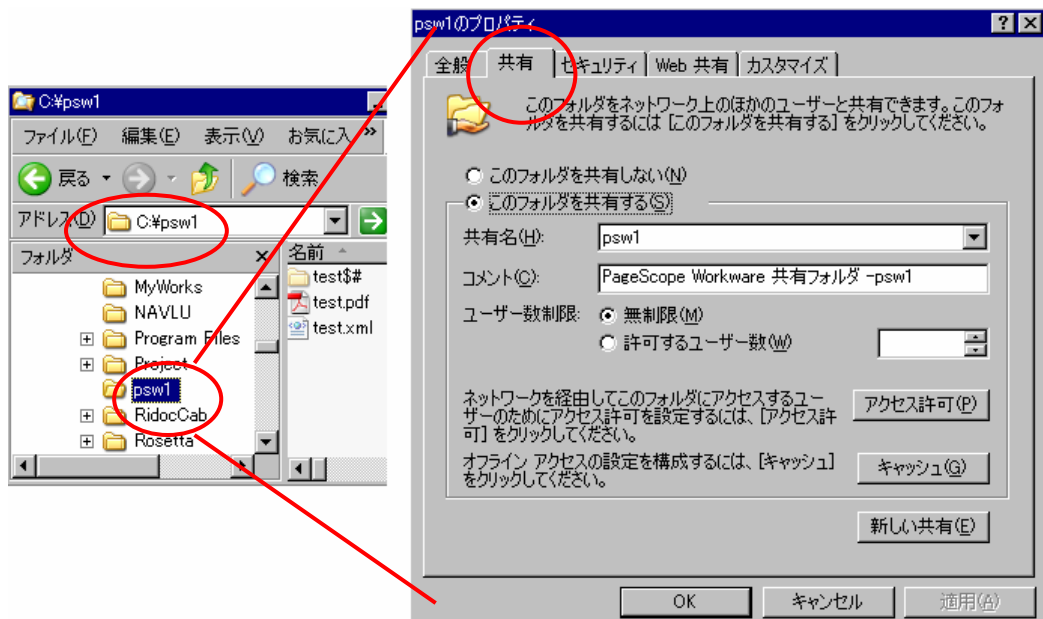
1.6.1 Workware 上共有フォルダの OS 上の共有属性情報の確認方法

Workware で登録された共有フォルダの OS 上の共有属性情報の確認方法を説明します。

Workware に登録された共有フォルダは、登録時に指定したフォルダパスに実際のデータが存在します。Workware 上で共有フォルダ(ここでは例として“psw1”を挙げます)を選択し、右クリックでプロパティを選択すると、「フォルダのプロパティ」画面が表示され、その画面の“場所”で登録時に指定したフォルダパスを参照できます(ここでは“C:¥psw1”が相当)。



また、エクスプローラより実際のフォルダパス(ここでは“C:¥psw1”)を指定し、右クリックでプロパティを選択すると、「フォルダのプロパティ」画面が表示され、その画面の「共有」タブにそのフォルダの共有設定に関する情報が参照できます。これが OS 上でのそのフォルダの共有属性情報となります。



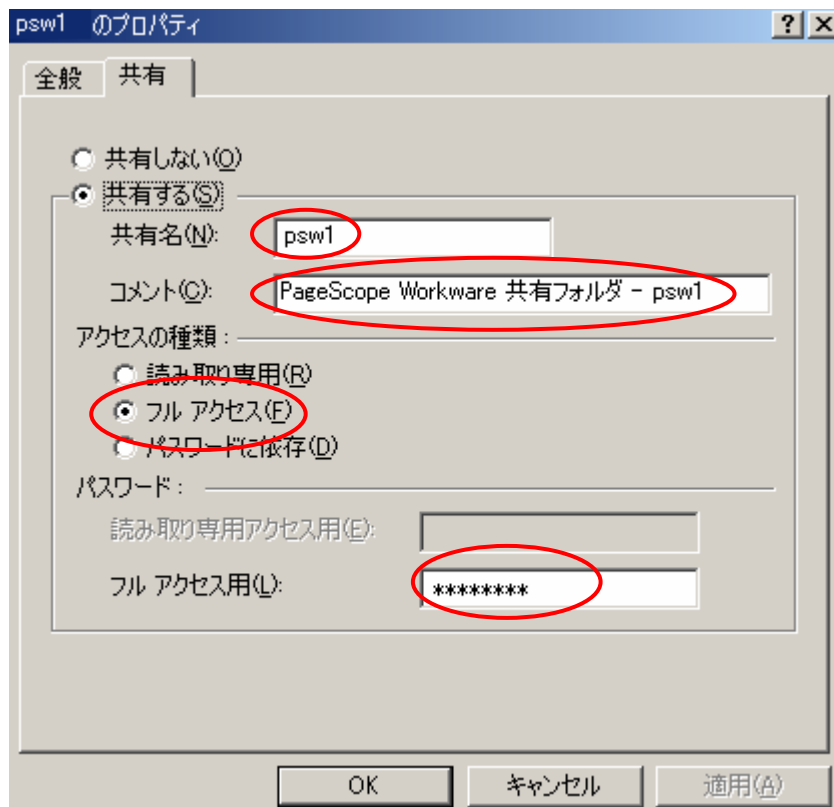
1.6.2 リストアを行う環境 (OS) が 98SE/ME のとき

1.6.2.1. バックアップを行った環境が 98SE/ME のとき



リストア後、Workware に登録された共有フォルダの OS 上の共有属性情報は以下の情報になります。

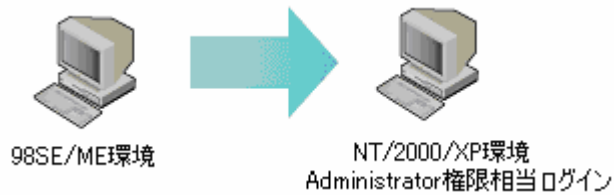
項目	値	注意事項
共有名	Workware に登録されているフォルダ名	Workware に共有フォルダを登録してから、値を変更したとしても、リストア後、Workware に共有フォルダの登録を行ったときと同じ値が設定されます
コメント	“PageScope Workware 共有フォルダ -” + 共有名	
アクセスの種類	フルアクセス	
パスワード	“workware”	Workware に共有フォルダの登録を行ったとき、パスワードは空白で登録されますが、リストア後、“workware”が登録されます



1.6.3. リストアを行う環境 (OS) が NT/2000/XP のとき

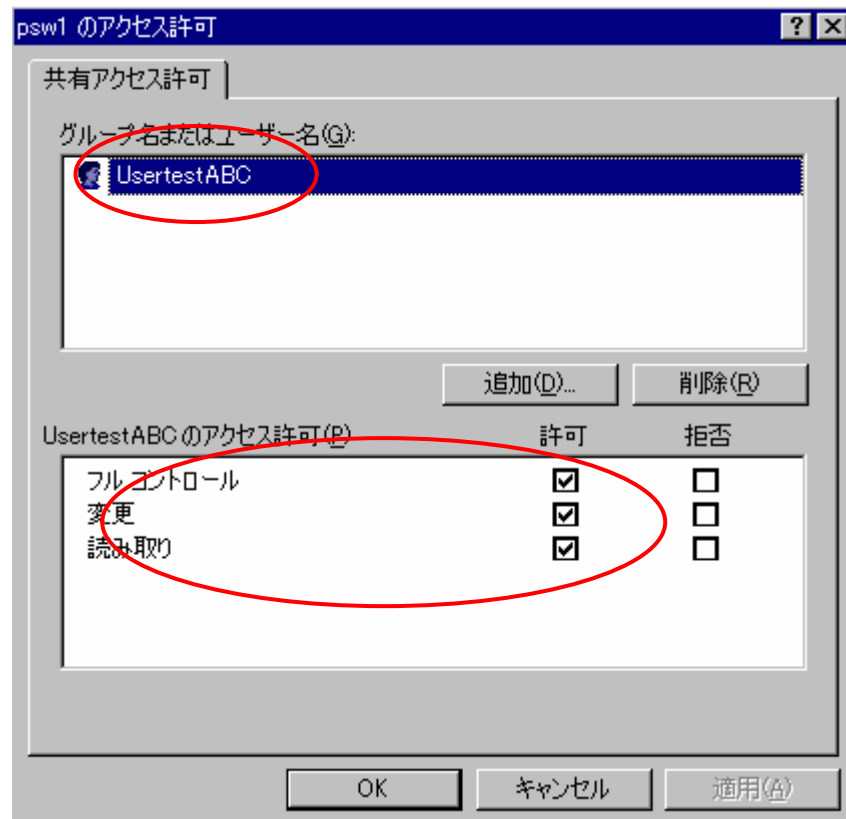
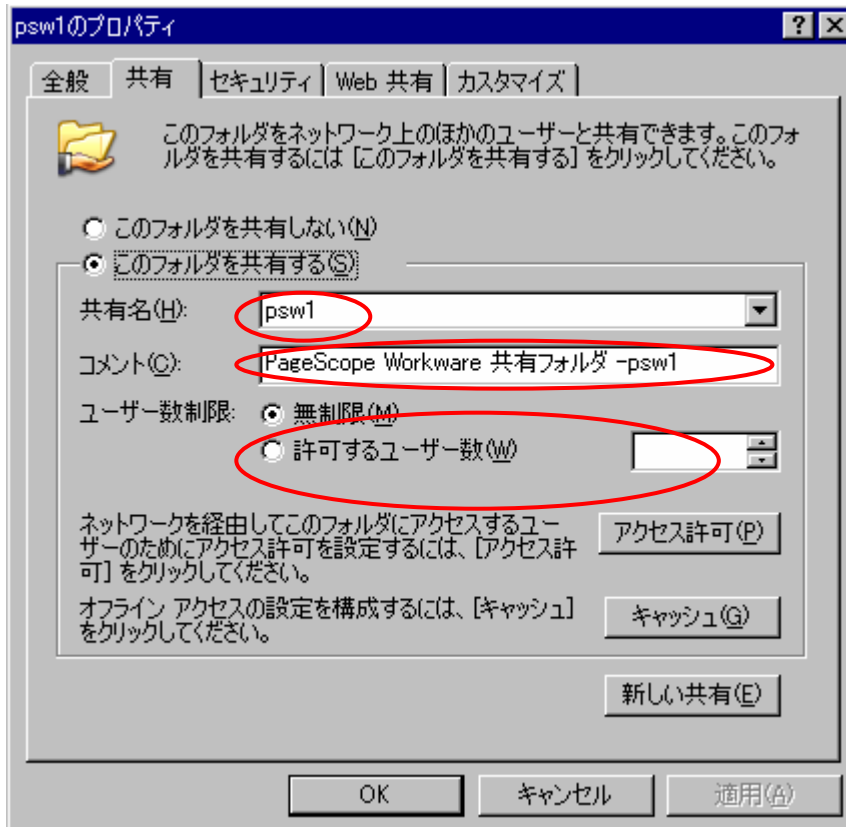
1.6.3.1 . Administrator/PowerUser 相当の権限でログインしているとき

1.6.3.1.1 . バックアップを行った環境が 98SE/ME のとき



リストア後、Workware に登録された共有フォルダの OS 上の共有属性情報は以下の情報になります。

項目	値	注意事項
共有名	Workware に登録されているフォルダ名	Workware に共有フォルダを登録してから、値を変更したとしても、リストア後、Workware に共有フォルダの登録を行ったときと同じ値が設定されます
コメント	“PageScope Workware 共有フォルダ -” + 共有名	
アクセスの種類	無制限	98SE/ME 環境でのパスワード設定にかかわらず、左記の値となります
共有アクセス許可	リストアを行ったユーザで、フルコントロール	

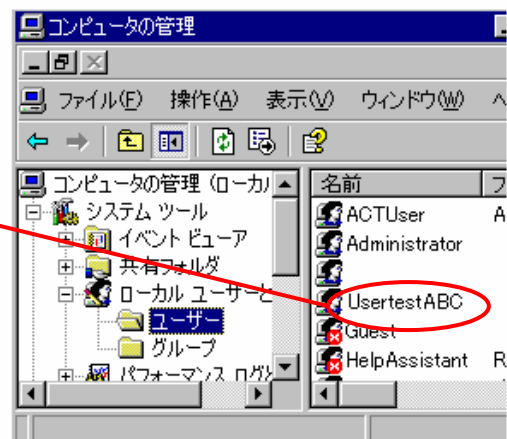
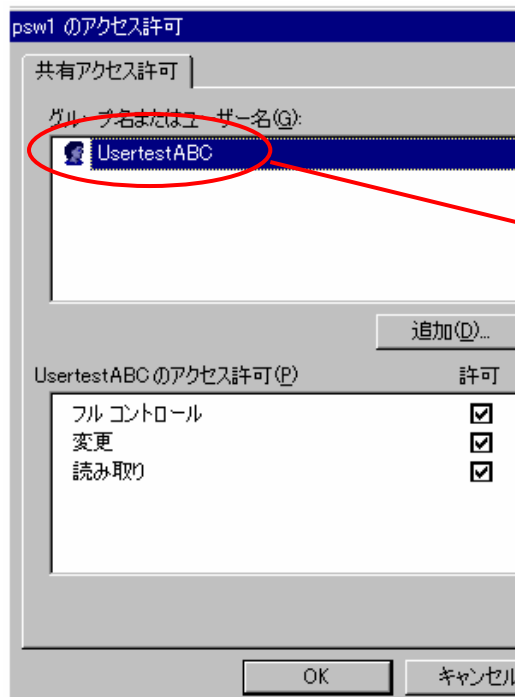
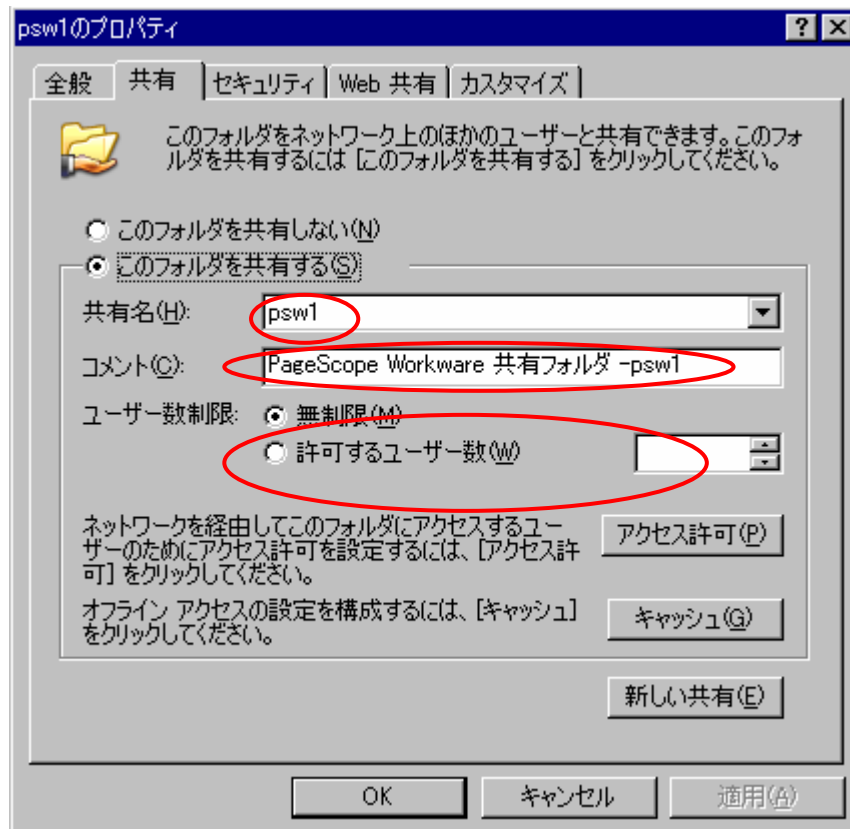


1.6.3.1.2. バックアップを行った環境がNT/2000/XPでAdministrator相当の権限でログインしたとき



リストア後、Workware に登録された共有フォルダの OS上の共有属性情報は以下の情報になります。

項目	値	注意事項
共有名	Workware に登録されているフォルダ名	バックアップ時には異なる名前で設定されていたとしても左記の値となります
コメント	バックアップ時に設定されている値	
アクセスの種類	バックアップ時に設定されている値	
共有アクセス許可	バックアップ時に設定されている値 ただし、リストアを行う PC にバックアップ時に設定されたログインユーザが登録されている場合のみ、設定します リストアを行う PC に登録されていないときは、リストアを行ったユーザで、フルコントロール権限を設定します	

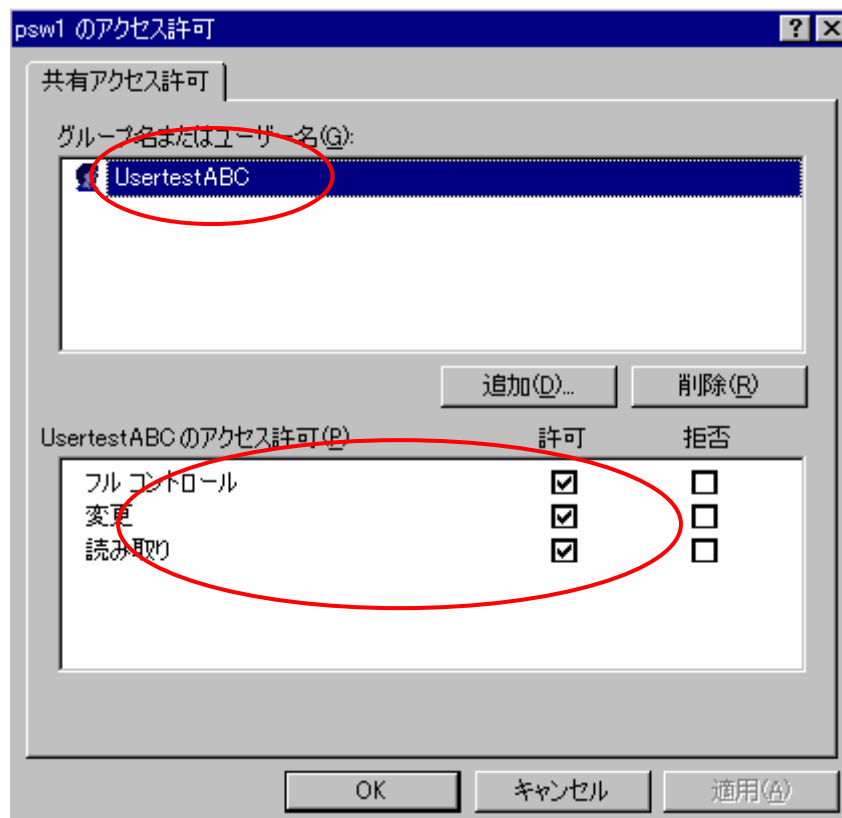
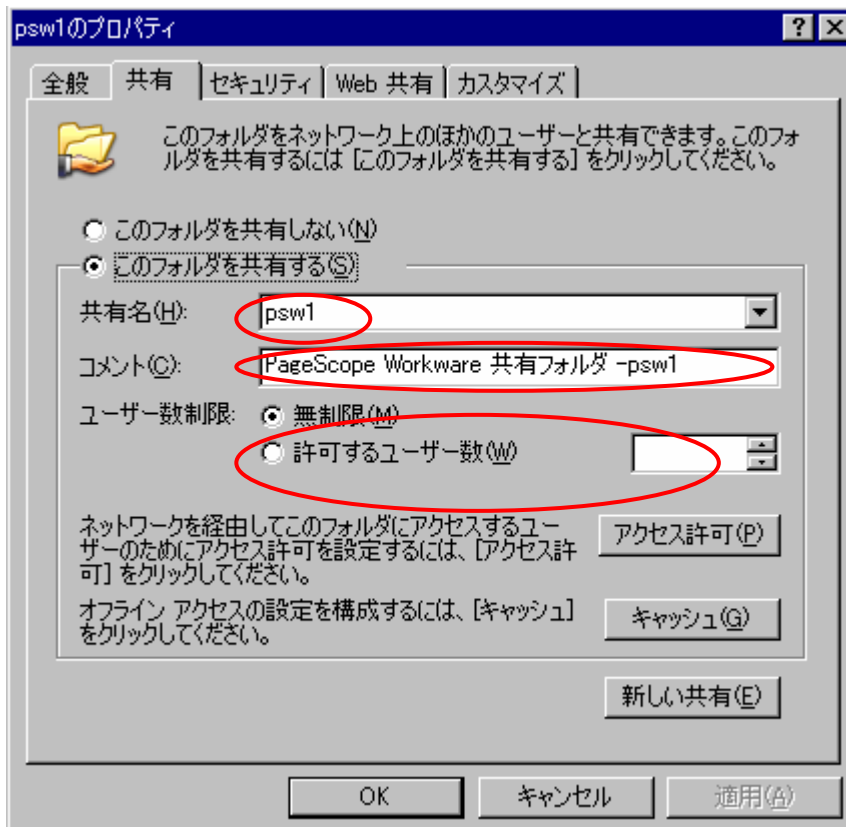


1.6.3.1.3. バックアップを行った環境が NT/2000/XP 環境 Users/Guests 相当の権限でログインしたとき

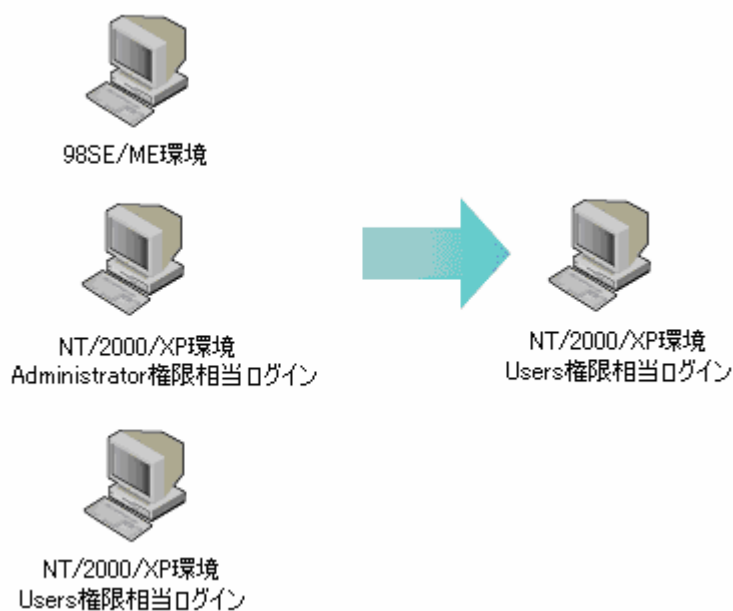


リストア後、Workware に登録された共有フォルダの OS 上の共有属性情報は以下の情報になります。

項目	値	注意事項
共有名	Workware に登録されているフォルダ名	左記の値となります
コメント	“PageScope Workware 共有フォルダ -” + 共有名	
アクセスの種類	無制限	
共有アクセス許可	リストアを行ったユーザで、フルコントロール	



1.6.3.2 . Users/Guests 相当の権限でログインしているとき



Workware に登録されている共有フォルダには、下記の 2 種類あり、それぞれ下記のようにリストアされます。

1. Workware に既に登録されたフォルダを共有した場合

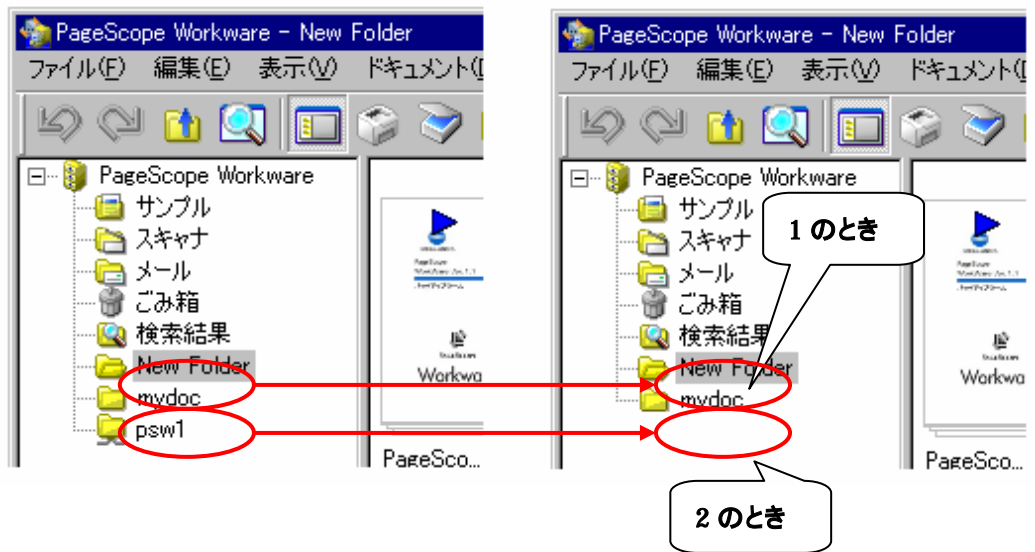
Workware 上で登録されているフォルダを選択し、右クリックのコンテキストメニューで「共有フォルダ」の「作成」を選択し、共有フォルダを作成した場合

リストア後、Workware 上で操作できるよう、リストアされますが、共有フォルダ設定は解除されます。再び、共有設定する必要があります。そのフォルダを選択し、右クリックのコンテキストメニューで「共有フォルダ」の「作成」を選択してください。

2. Workware に登録されていないフォルダを共有フォルダとして登録した場合

Workware 上で “PageScope Workware” を選択し、右クリックで「共有フォルダ」の「作成」を選択し、共有名と OS 上のフォルダパスとを入力し、共有フォルダを作成した場合

リストア後、データはリストアされますが、Workware には登録されていない状態となります。再度、共有フォルダを登録する必要があります。Workware 上で “PageScope Workware” を選択し、右クリックで「共有フォルダ」の「作成」を選択し、共有名と OS 上のフォルダパスとを入力し、共有フォルダを作成してください。



[Note]

Users/Guests 相当の権限でログインしている環境でリストアを行う際には、共有フォルダのフォルダパス情報を予め、メモしバックアップを行ってください。

2. バックアップツールをインストールする

バックアップツールをインストールするには、以下の手順を実行します。

1. PC に Administrator 権限でログインします。
2. Workware を起動し、閉じます。

[Note]

バックアップツールは、Workware がインストールされていない PC や、インストールされていても一度も起動したことのない PC には、インストールできません。

3. バックアップツールを画面の指示に従って、インストールを行います。

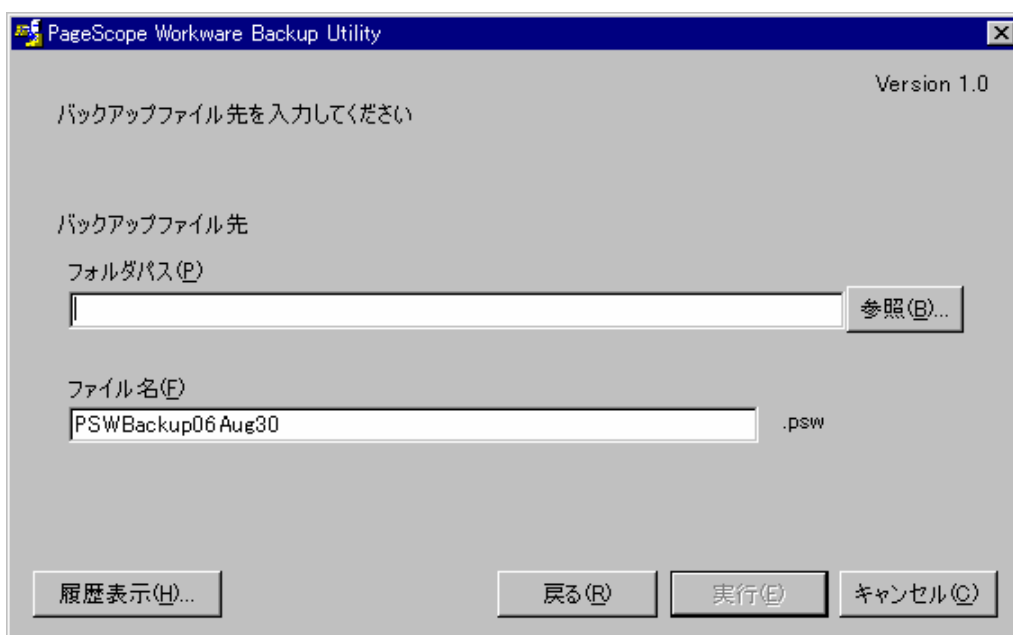
3. バックアップする

Workware データのバックアップを行うには、以下の手順を実行します。

1. 全てのアプリケーション、エクスプローラを閉じます。
2. バックアップツールを起動します。
3. 「バックアップ」を選択し、「次へ」ボタンを選択します。



4. バックアップファイルの保存先を入力し、「実行」ボタンを選択します。



- フォルダパス
存在するフォルダのパスを入力します。
直接入力するか、「参照」ボタンを押し、フォルダを選択します。
- ファイル名
つけたいファイル名を入力します。

・「参照」ボタンを押すと、「フォルダの参照」ダイアログが表示されます。保存先のフォルダを選択します。



[Note]

バックアップ先に指定したフォルダが存在するドライブには十分な空き容量(バックアップを行うデータフォルダの2倍の容量(最大))が必要です。

[Note]

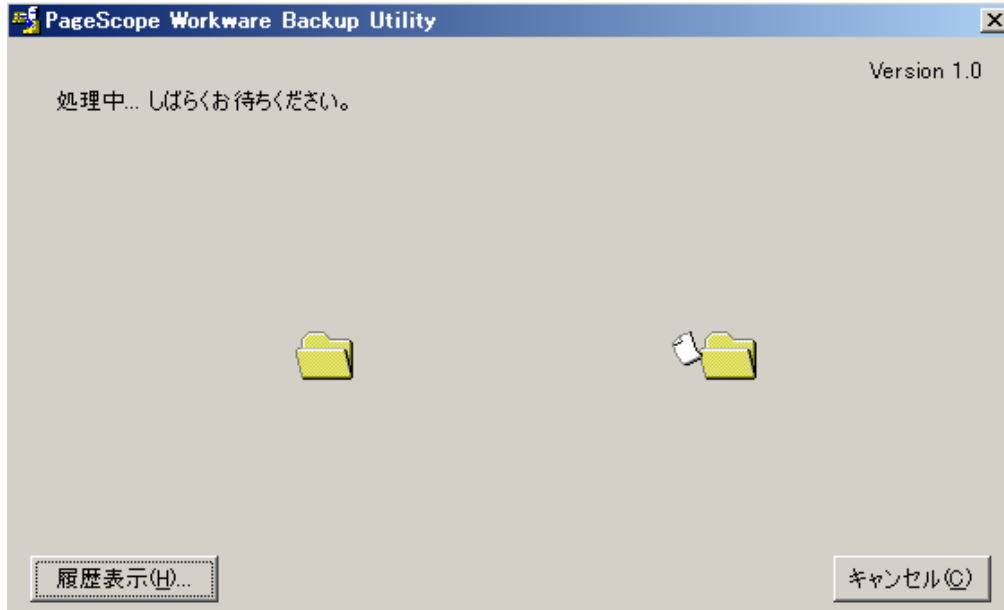
他のPCの共有フォルダに保存したいときは、「マイ ネットワーク」を選択し、他のPCの共有フォルダを選択します。

PCのみが見えていて、共有フォルダが見えない場合があります。この問題は接続したいPCにエクスプローラから予め、ログインをしておくことで回避できます。エクスプローラのフォルダツリーから接続したいPCを選択すると、下記のようなダイアログが表示されます。このダイアログで、接続するPCへログインできるユーザー名とパスワードを入力します。



正常にログインできた場合は、「フォルダの参照」ダイアログを一旦閉じて、再度、「参照」ボタンを選択します。

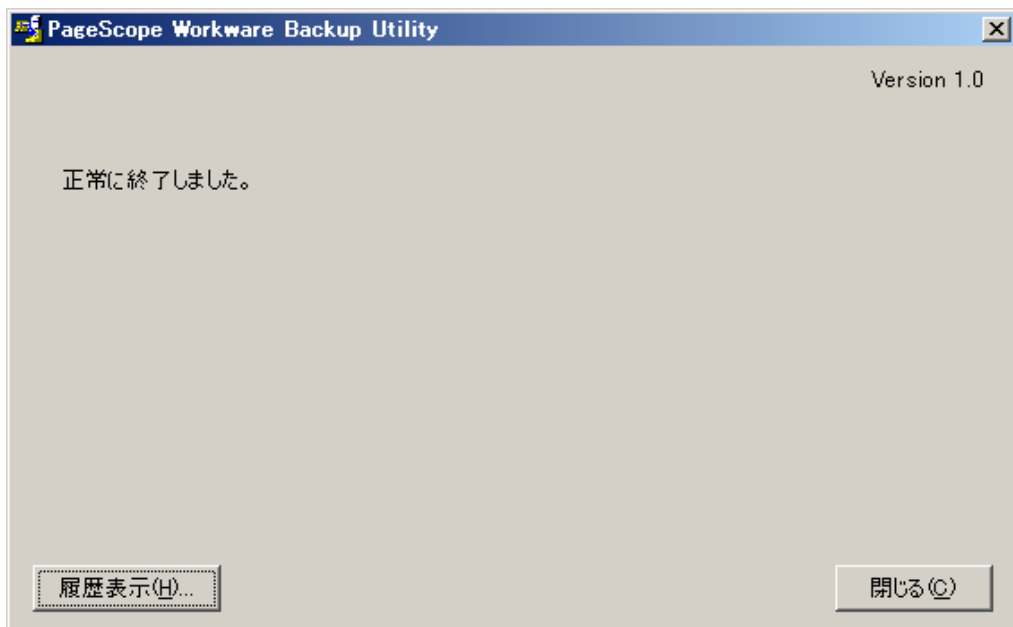
また、共有フォルダが見えておりバックアップ先に指定し、バックアップを行うと失敗する場合があります。この問題も上記方法で回避することができます。



[Note]

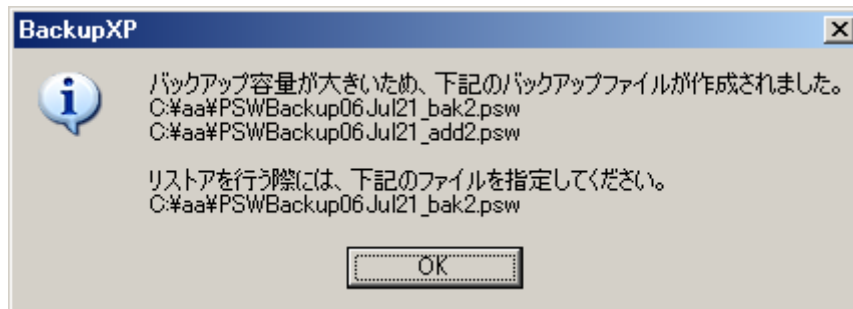
PC 環境や Workware データにより、数分かかる場合があります。

5. 結果を確認し、「閉じる」ボタンを選択します。



[Note]

Workware に登録されているデータが非常に大きいとき、指定したフォルダパスにバックアップファイルが複数できることがあります。



リストア時には、作成された全てのファイルを同じフォルダパスに置き、上記ダイアログで指定されたファイルを選択してください。

[Note]

バックアップファイル名は履歴にて参照することが可能です。

[Note]

ファイル名は絶対に変更しないでください。リストアを行えなくなる可能性があります。

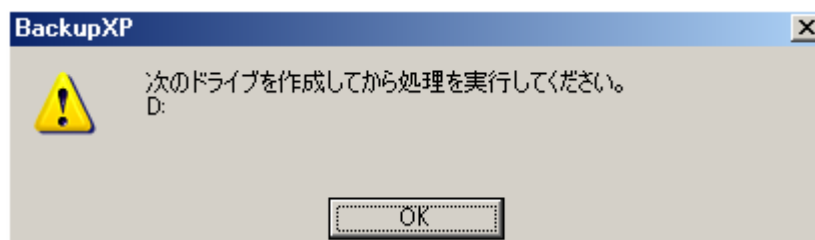
4. リストアする

4.1. リストア時の注意点

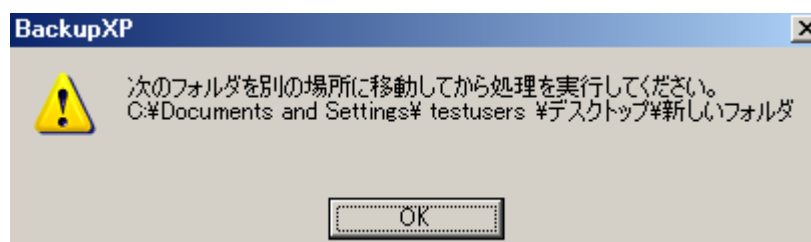
次の場合、リストアできません。

1. リストアを行う全ての環境において

1. バックアップデータの共有データが、リストアを行う PC に存在しないドライブを含んでいた場合、上記警告ダイアログに従い、ドライブを「コンピュータの管理」から作成した後、リストアを行ってください。

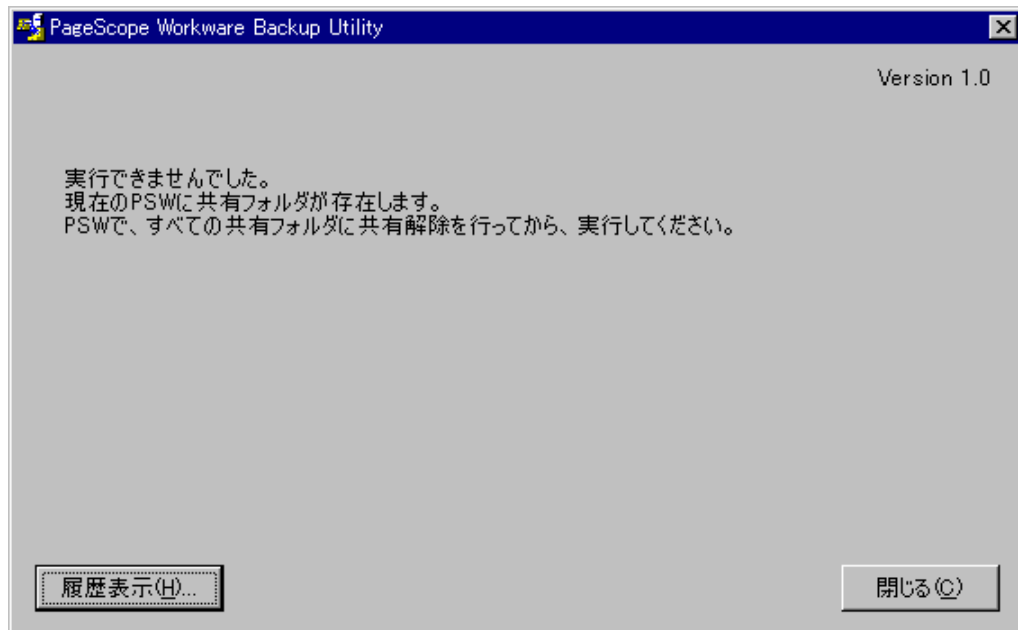


2. バックアップデータの共有データが、リストアを行う PC にすでに存在するフォルダを含んでいた場合(ただし、Workware が管理しているフォルダを除く)。上記警告ダイアログに従い、フォルダをエクスプローラから移動した後、リストアを行ってください。



2. NT/2000/XP 環境で制限ユーザ(Users/ Guests 等)権限でログインしているときのみ

1. 現在の Workware に共有フォルダのデータがあると、リストアを行いません。Workware で共有フォルダを解除してから、再度、バックアップツールで、リストアを行ってください。



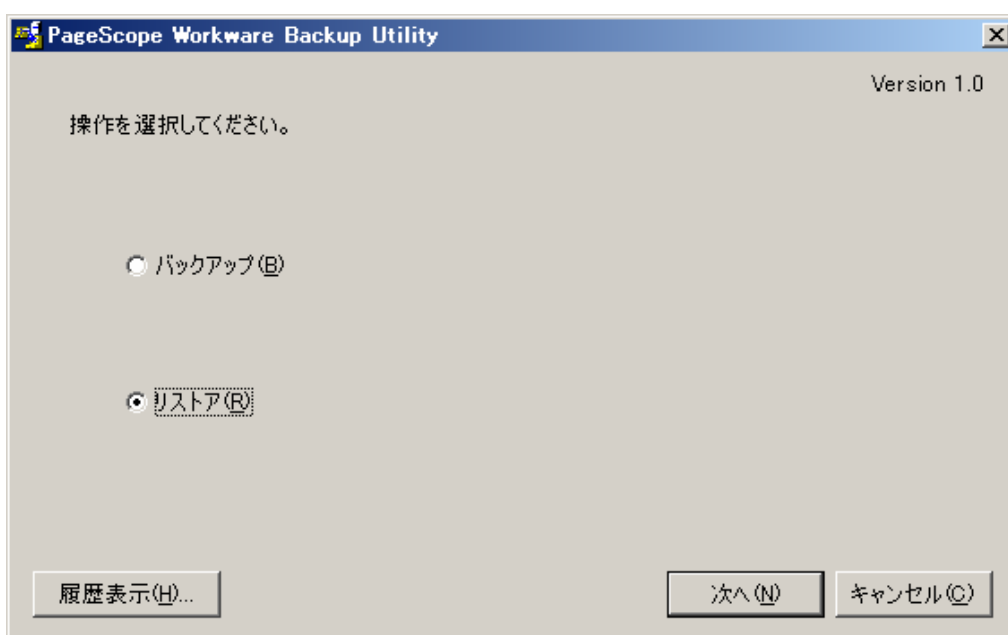
4.2. リストアの準備をする

リストアを行うと、現在使用している Workware のデータは削除され、バックアップされたデータとなります。必要に応じて、リストアを行う前に、本書の「3. バックアップする」の手順に従い、現在の Workware のデータのバックアップをとってください。

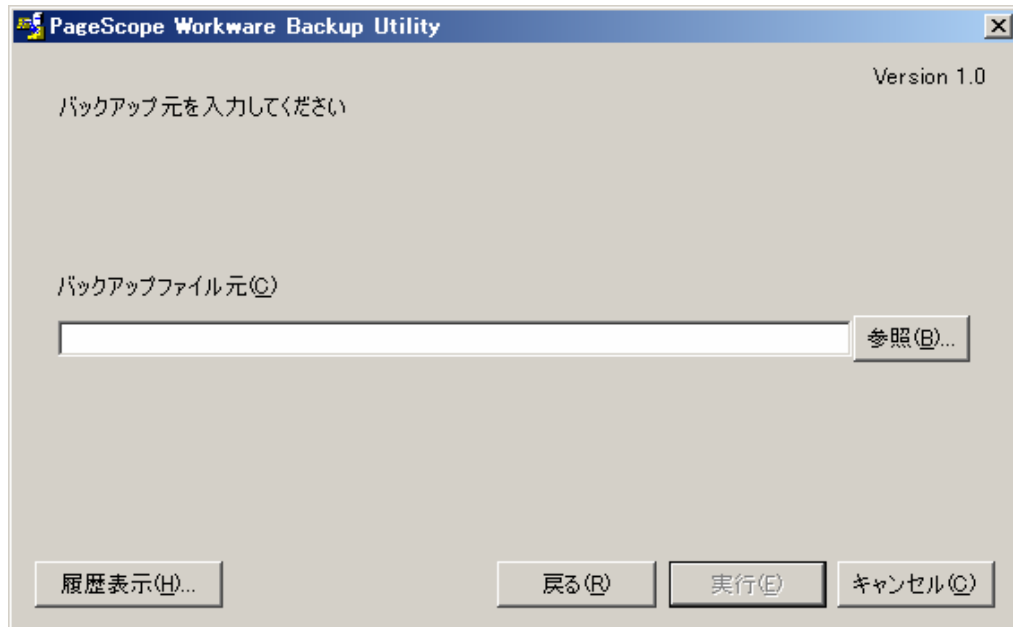
4.3. リストアする

Workware データのリストアを行うには、以下の手順を実行します。

1. 全てのアプリケーション、エクスプローラを閉じます。
2. バックアップツールを起動します。
3. 「リストア」を選択し、「次へ」ボタンを選択します。



4. バックアップファイルの保存先を入力し、「実行」ボタンを選択します。

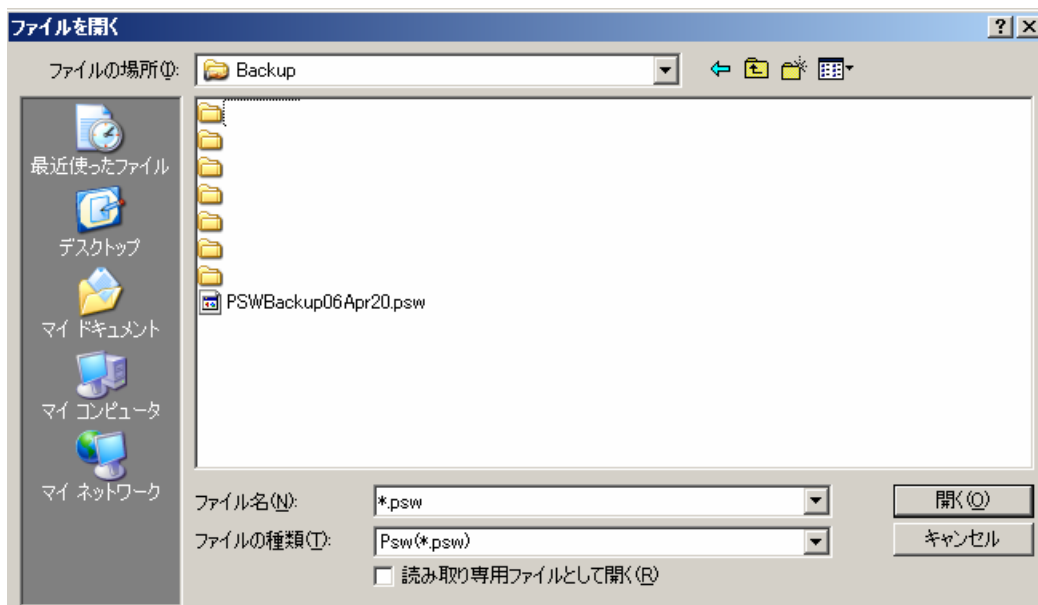


- バックアップファイル元

存在するバックアップファイル(XXX.psw)のパスを指定します。

直接入力するか、「参照」ボタンを押しファイルを選択します。

・「参照」ボタンを押すと、「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。リストアップしたい、バックアップファイルを選択します。



[Note]

リストアを行うには、Workware のデータフォルダが存在するドライブには、十分な空き容量が必要です。

[Note]

他の PC の共有フォルダに保存したいときは、「マイ ネットワーク」を選択し、他の PC の共有フォルダを選択します。

他の PC を選択すると、下記のようなダイアログが表示される場合があります。このダイアログで、接続する PC へログインできるユーザー名とパスワードを入力します。

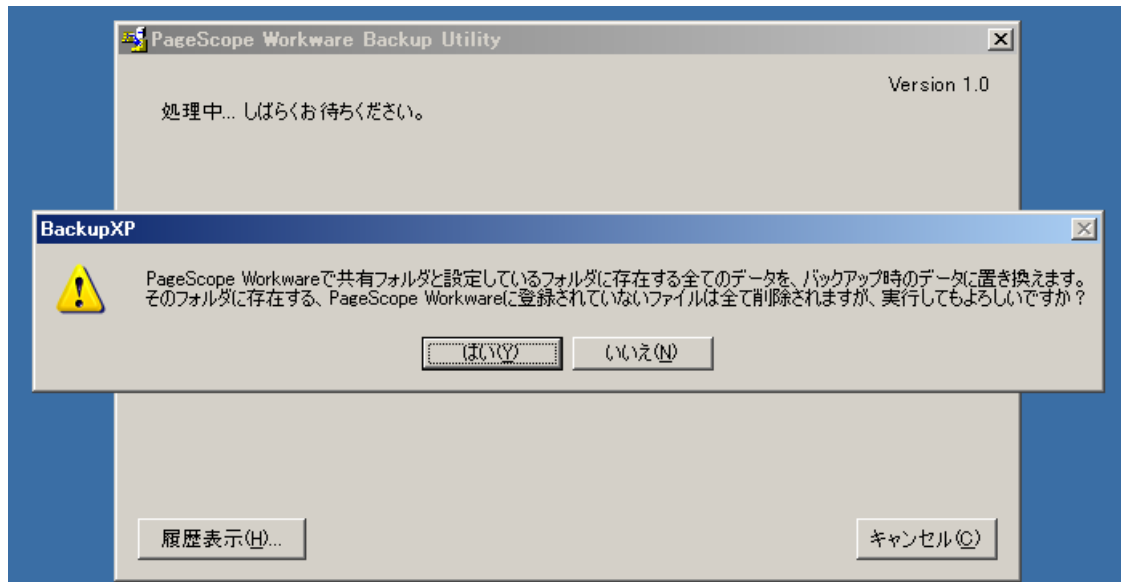


[Note]

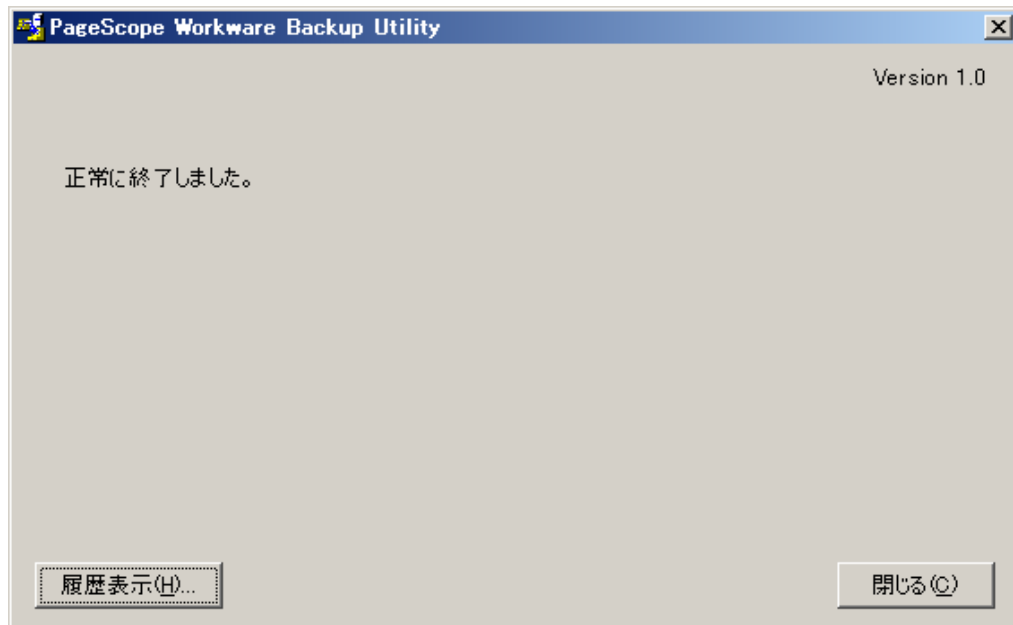
バックアップ時にバックアップファイルが複数作成された場合は、作成された全てのファイルを同じフォルダパスに置き、バックアップファイルには指定されたファイルを選択してください。作成されたファイルのファイル名を変更した場合、リストアできない可能性があります。

[Note]

現在の Workware に登録されている共有フォルダの実際のデータが存在するフォルダパスに存在するファイルは、Workware に登録されていないファイルも含め、全て削除されます。



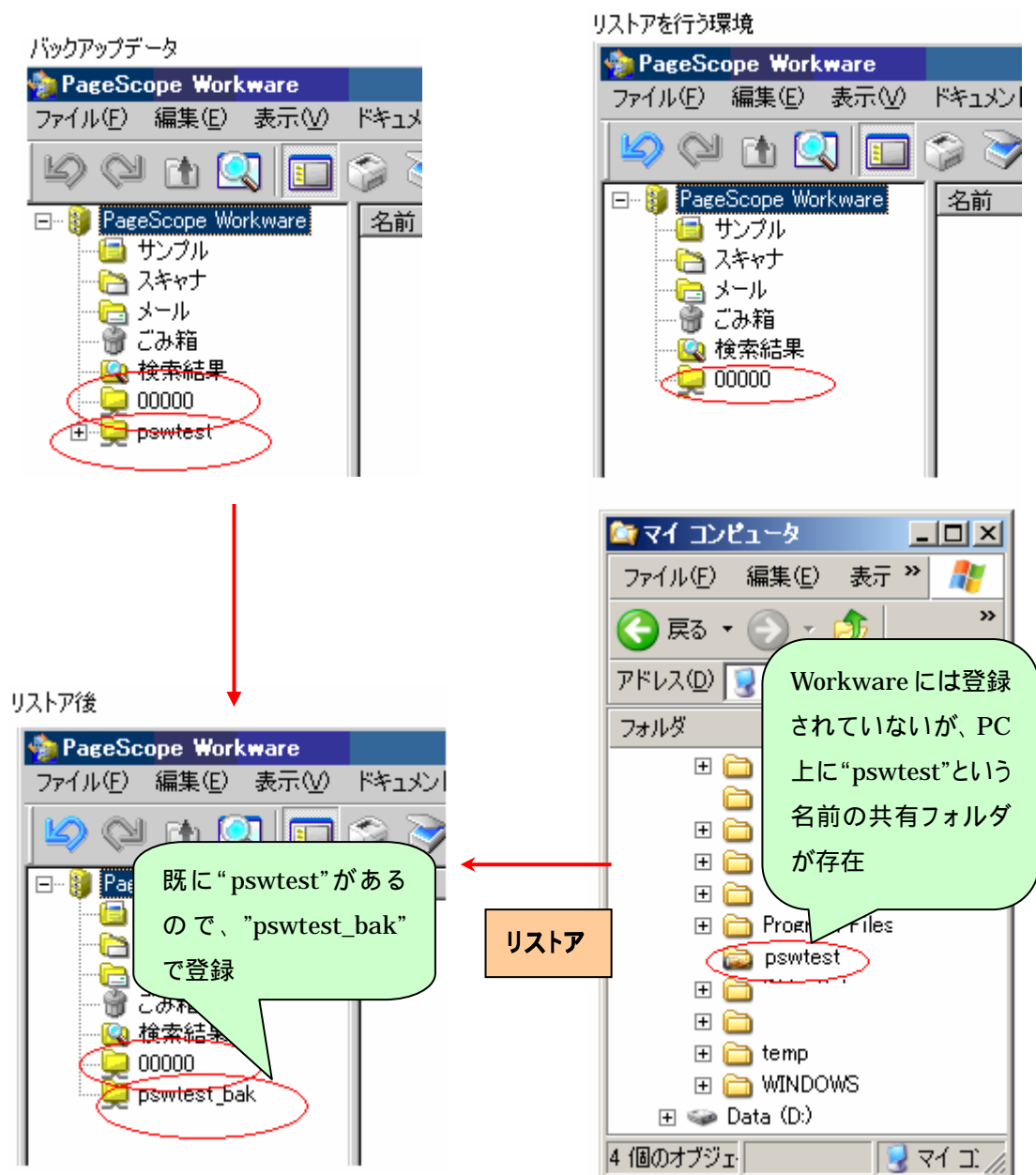
5. 結果を確認し、「閉じる」ボタンを選択します。



6. PageScope Workware を起動し、データの確認を行います。

[Note]

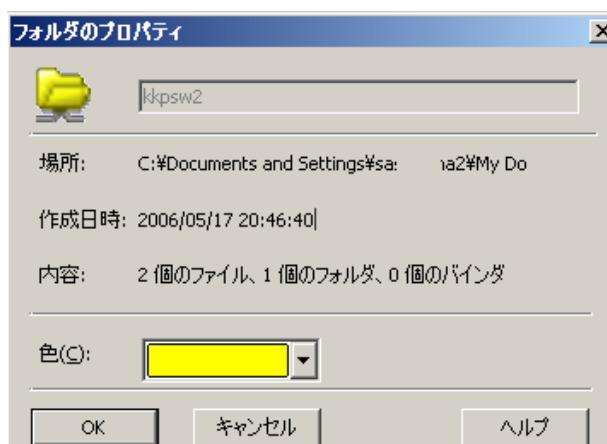
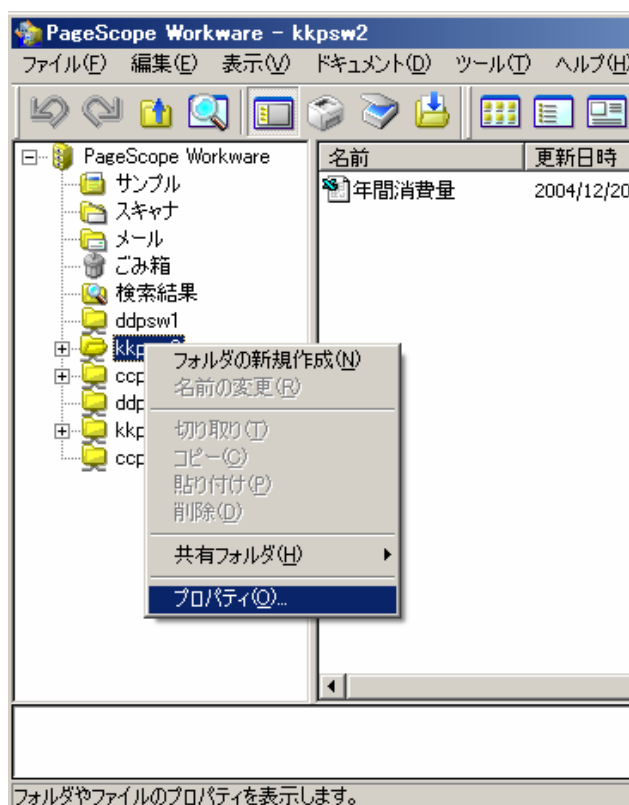
リストアを行う環境(PC)に、現在の Workware に登録されておらず、かつ、バックアップデータと同じ名前である、共有フォルダが存在する場合(ここでは、“pswtest”が該当)は、違う共有フォルダ名(共有フォルダ名 + “_bak”) で共有設定を行います。このとき、OS のエクスプローラ上でも、(共有フォルダ名 + “_bak”) で共有設定されます。共有名が長い場合、共有フォルダ名の後ろから文字を削除し、+ “_bak” を追加します。



[Note]

バックアップを行った PC とリストアを行った PC で、PC の環境が異なる場合 (ログインユーザーの設定等)、OS 上の共有設定を手動で設定することがあることがあります。

Workware において、フォルダ表示エリアで登録された、共有フォルダを選択し、右クリックし、「プロパティ」を選択します。下記の「フォルダのプロパティ」が表示されます

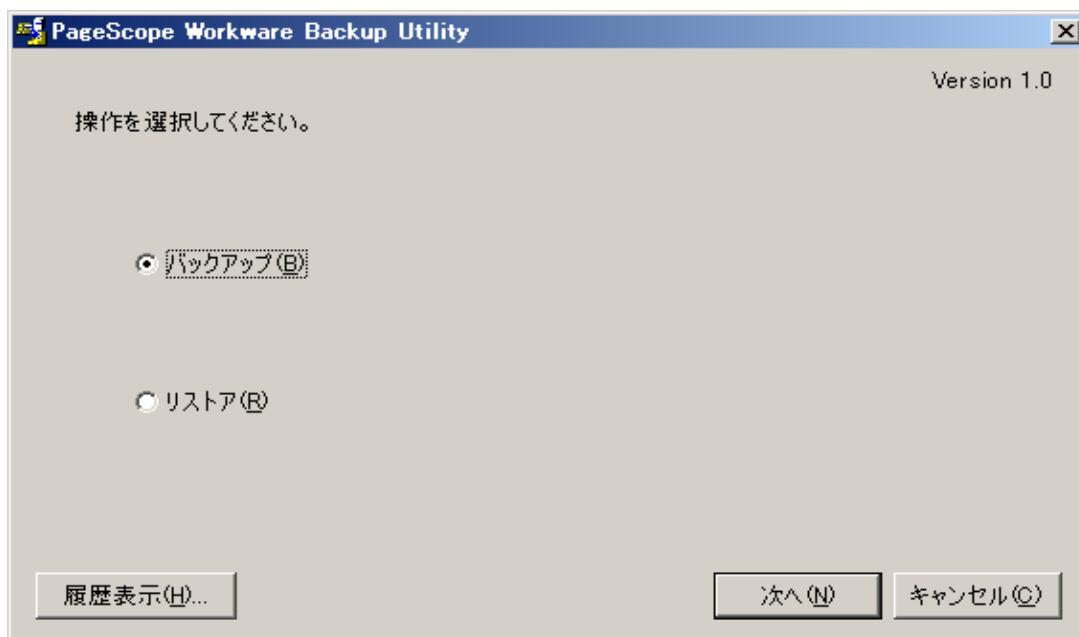


エクスプローラより、「フォルダのプロパティ」ダイアログの「場所」で表示されたフォルダパスを選択します。そのフォルダに共有設定を行ってください。

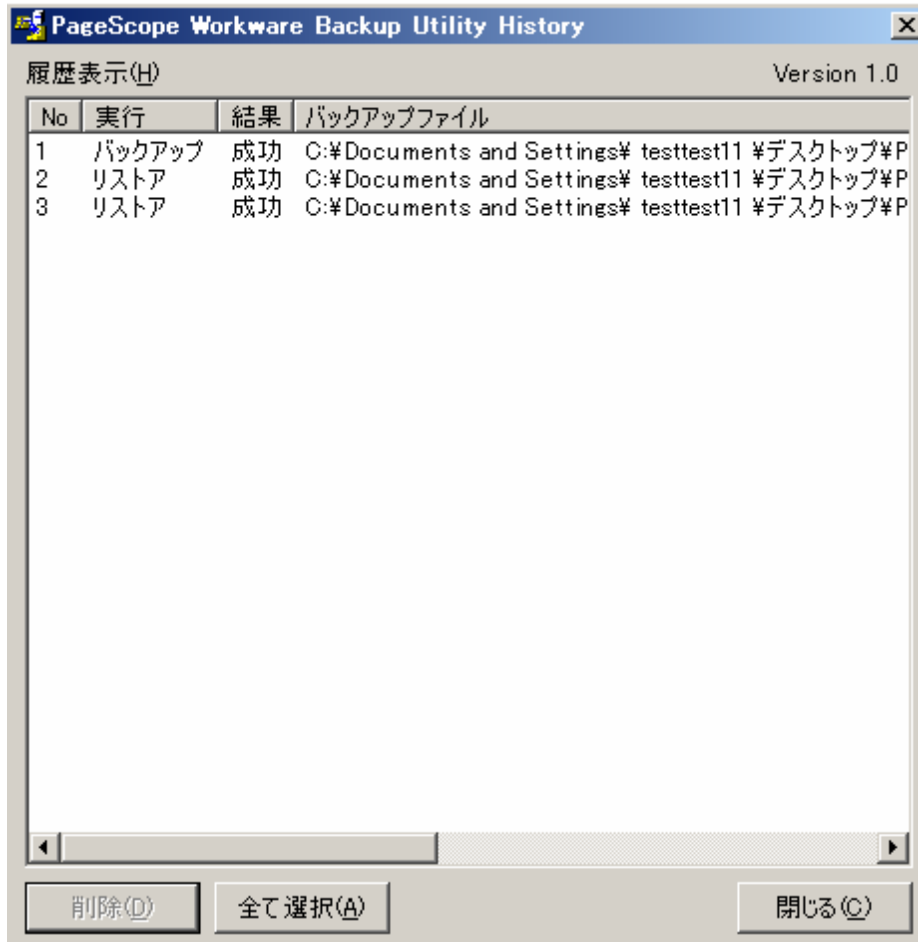
5. 履歴を閲覧する

バックアップツールの履歴を閲覧するには以下の手順を実行します。

1. 各画面の「履歴表示」ボタンを選択します。



2. 履歴を削除するには、履歴を選択し、「削除」ボタンを選択します。



全て削除したい場合は、「全て選択」ボタンを押してから「削除ボタン」を選択します。

3. 「閉じる」ボタンを選択します。



KONICA MINOLTA

国内総販売元

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元

コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング